

児童発達支援自己評価表 職員向け

社会福祉法人愛誠会 トミーズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		活動内容を工夫したり、グループ分けをしてスペースをうまくつかっている。 2部屋に分かれるなど工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	8		子どもの様子に応じて手厚く配置する事もある。 人数に対して、4.5名の職員配置をしている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8		一日の流れが分かりやすいように写真等を貼っている。 トイレなどイラストなどを貼り場所を分かりやすく視覚的工夫をしている。 扉はスライド式で段差はなくバリアフリーとなっている。 エレベーターがある。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8		毎日掃除を欠かさず行い、清潔を保っている。 毎日消毒や掃除を実施している。 活動に合わせて2部屋に分けるなど子ども達に合わせている。 整理整頓を各自で気を付けて行っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8		業務改善の為、会議等の時間で利用児の振り返りや課題の話などを行っている。 支援計画や年間療育計画の中間振り返り等を実施している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		保護者の意向や要望を職員に周知している。 昨年度評価にあった内容について防災訓練実施時は連絡帳に記入したり口頭で伝えたり、実施している事が伝わるように心がけている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8		保護者向け評価表を集計し、結果や今後の対応を事業所HPで公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		8	第三者評価は受けていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		コロナ禍であったが、リモートでの外部研修に参加した。 他職員の研修内容も聞いたり回覧したりして把握できるようにしている。 コロナの為外部研修は減ったが、内部で研修するようにしている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		アセスメントシートの保護者からの要望を元に作成している。 保護者から要望や様子を聞き取るようにしている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		利用開始時のアセスメントシートの作成 ケース会議での資料作成
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8		児童発達支援計画作成時、各自に必要な項目の選択や具体的な支援内容の設定を心がけている。

適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	絵カードや個人のスケジュール表を作成して本児に合った伝え方を支援で行い工夫している。 全職員に周知できるように、伝達ノートに記載し、いつでも見る事ができるようにしている。 支援計画を全員分把握し続ける事が難しい為、最新のものをまとめ目につきやすい工夫をしても良いのではないかと。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	活動内容について他職員と相談して行っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	週間計画を作成し、活動内容を記入して固定化しないように工夫している。 季節にあったものや、今子ども達が好きなこと・支援の中で重点的にやりたいことなどをまんべんなく取り入れている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	8	集団遊びの時間と個別支援での時間をとっている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	内容や各自の動きを打ち合わせ時に行っている。 その日の内容や人員配置をボードに記入して把握できるようにしている。 内容や役割の変更があった時にはすぐに伝え柔軟に対応する事が出来ている。 朝夕の打ち合わせで内容の確認をしている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	子どもの気づいた点や様子などを話し、情報共有できるようにしている。 午睡時間などに今日の振り返りをパート職員と正規職員とで行っている。 正規職員が率先して聞くような体制が出来ている。 夕方の打ち合わせでその日の子どもの様子等を報告している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	ケース記録の内容を細かく記入するようにしている。 ケース記録のまとめを1か月ごとに行い、次の支援に繋がるようにしている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	会議内でモニタリングを行い、子どもの状況や見直し等の話し合いをしている。 半年の振り返りの他にケース会議での支援内容の話を行っている。
関係機関や保護者との連携関係や保	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	児童発達支援管理責任者や担当保育士が参加している。 保護者・併用利用の施設等も交えて行う事もある。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	個々に応じた関係機関と連携を図るようにしている。また直接でなくても保護者を通じて情報共有に努めている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		該当者なし。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		該当者なし。

護者との連携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		利用児が通っている園での様子を園の先生や保護者などを通じて情報共有をしている。 就園・就学後に見学に行ったり、こちらでの様子を見に来てもらうなど連携を深めていくと良い。 個々のケースに応じて実際の様子を見て頂く為に、見学に来てもらったこともある。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		必要なケースであれば、行っている。 今年度は該当者なし。 特別支援学校の体験入学の案内などを掲示するなどしている。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		他事業所の行う研修に参加したりしている。 他のセンターや事業所の支援を知ったり情報を集めることでよりより支援に繋がると思う。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		8	園庭で遊ばせてもらう程度でも交流になるのではないかと。 今年度は支援センターなどに出向き、障害のない子と交流する機会を持つと検討していたが、新型コロナの影響で断念せざるを得なかった。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	5	静岡市内の児童発達支援事業所が持ち回りで主催する児童発達支援事業所連絡協議会には参加している。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		保護者にその日の様子や状況等を伝えている。 また共通理解を持つことができるように口頭でも報告を実施している。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8		支援方法を口頭で伝えるようにしている。 その都度、支援方法を保護者と共有し合い、家庭で取り組みやすい方法などの提案を行っている。 コロナ禍により、前年度に比べて保護者への支援は偏りなく取り組む事は難しかったが、出来る所で相談の時間などを設けるようにした。
関係機関や保護者との連携	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		児童発達支援管理責任者が行っている。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		児童発達支援計画の説明をし要望や様子を聞いている。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		子育ての悩み等に対する相談を受け、一人では解決できない時には他職員に意見を聞いたり、まとめた上で伝えるようにしている。 迅速に対応できない事もある為、その点が自己課題である。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8		年に1度保護者交流会を行い、保護者同士の交流や連携を支援している。 コロナ禍により、親子行事が少なくなりましたが、年に1回は交流会を開催できた。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		保護者からの申し入れがあった場合は迅速に対応している。また結果等の報告も迅速にしている。
保護者への説明責任等	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		トミーズだよりの作成をし、写真や文章で様子を保護者に伝えている。

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		HPに使用する活動写真などは、子どもの顔が分からないものを選んでいいる。 実績記録表は職員が開くようにしている。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		支援の中では、絵カードを使用している。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	5	建物周辺を散歩したり、すれ違う人と挨拶をするなど閉鎖的にならないように出来る事を工夫している。 地域住民を招待する等の取り組みは出来ていない為、今後どのような方法があるのか職員間で意見を出し合い、共有認識を図っていく。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8		マニュアルや資料を作成し、職員に周知している。 不審者訓練を年に2回程実施している。 感染症対応については、法人内で共有しながら職員や保護者へ手紙など配布を行った。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		毎月、火災や地震・津波洪水などの避難訓練を行っている。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8		てんかん発作のある利用児について対応書類を作成し職員間で共有できるようにしている。 服薬がある際には、全体への声掛け・ボードへの記入を行っている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		指示書はないが、アレルギーのある子どもの状況を掲示している。 アレルギーのある子は他児との接触等がないよう環境配置をしている。 給食ではなく、お弁当持参にしている。 食具や席配置の配慮をしている。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		ヒヤリハットを作成し、職員間で回覧している。また会議の議題として取り上げ、共有している。 共有出来ているが、ヒヤリハットを記入する機会が以前より減った。簡単に気軽にかけると良い。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		虐待防止委員を中止に会議時委員会での内容報告や資料の読み合わせなどを行っている。 会議の中で虐待について話をする機会を作っている。 リモートでの外部研修を実施している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8		契約時に説明をしている。